

2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 株式会社チームスピリット

上場取引所 東

コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 道下 和良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO (氏名) 虎見 英俊

TEL 03-4577-7510

四半期報告書提出予定日 2024年4月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	2,126	16.1	△80	—	△83	—	△63	—
2023年8月期第2四半期	1,831	16.6	△22	—	△25	—	△10	—

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 △60百万円（—） 2023年8月期第2四半期 △8百万円（—）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	△3.85	—
2023年8月期第2四半期	△0.63	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,640	1,346	37.0
2023年8月期	3,516	1,392	39.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 1,346百万円 2023年8月期 1,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400 ～4,500	15.5 18.1	△150	—	△155	—	△120	—	△7.30

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注2) 2024年8月期の連結業績予想については、事業環境の変化による影響を鑑み、売上高をレンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	16,451,600株	2023年8月期	16,408,100株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	7,915株	2023年8月期	4,615株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	16,408,752株	2023年8月期2Q	16,301,102株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議など、従業員が毎日使う社内業務システムを一元化したクラウドサービス「チームスピリット(注1)」を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する関心の高まりを背景に、多様で生産性の高い働き方の実現や、従業員エンゲージメントの向上に注力する企業が増加することが予想されます。また、特にエンタープライズ企業(注2)では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレイス需要が高まっています。従来、エンタープライズ企業では、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaS(注3)への関心が高まっています。

このような事業環境の下で、当社グループは、「エンタープライズ市場開拓(注4)」を成長戦略の柱に据えて、製品開発、セールス&マーケティング、サポートの各領域に積極的な投資を行い、エンタープライズ企業を中心に幅広い企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)ニーズに応えてまいりました。最近では、「勤怠」や「工数」データといった「ワークログ(業務における活動ログ)」を収集・分析し、それらを人的資本経営に生かすソリューションを提供しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

ライセンス受注状況に関して、当第2四半期連結累計期間における契約ライセンス数の純増は、エンタープライズ企業の新規受注や追加受注が成長を牽引し39,161ライセンスとなり、累計の契約ライセンス数は495,877ライセンス(前年同期比21.2%増)となりました。ARR(注5)は3,585百万円(同15.5%増)となりました。また、当第2四半期連結累計期間における契約社数の増加は63社となり、累計で1,863社となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高の合計は2,126百万円(前年同期比16.1%増)と概ね計画どおりの進捗となりました。売上高の内訳として、ライセンス売上高は1,730百万円(同15.8%増)、プロフェッショナルサービス売上高は395百万円(同17.3%増)となりました。営業損失は、売上高の増加に伴う仕入高や業務委託費の増加、採用の進展及びインセンティブ賞与の計上による人件費や社内インフラ費用の増加、展示会への出展による広告宣伝費の増加等により80百万円(前年同期は営業損失22百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、63百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) チームスピリット:大企業向けの「TeamSpirit EX」及び、幅広い企業規模で利用可能な「TeamSpirit」の2つの製品で構成。

(注2) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200～999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注3) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注4) エンタープライズ市場開拓:エンタープライズ企業におけるERPのフロントウェア(勤怠管理、工数管理、経費精算、ワークフロー等)は、手組みのスクラッチシステムやオンプレ型のパッケージシステムなどの利用が大半であり、それらのシステムをリプレイスしていく戦略。

(注5) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の「チームスピリット」(関連製品を含む)のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したものの。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,640百万円となり、前連結会計年度末から123百万円増加しました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,086百万円となり、前連結会計年度末から211百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は553百万円となり、前連結会計年度末から87百万円減少しました。これは主に、旧本社の敷金が返還されたことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,293百万円となり、前連結会計年度末から168百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債はありません。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,346百万円となり、前連結会計年度末から45百万円減少しました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金と資本剰余金が増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少し、結果として減少したものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円増加(前連結会計年度比5.2%増)しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は12百万円(前年同期は46百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を83百万円計上し、前払費用の増加40百万円により支出した一方で、受注拡大に伴い繰延収益が272百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は107百万円(前年同期は0百万円の支出)となりました。これは主に、敷金及び保証金の返還によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は0百万円(前年同期は0百万円の支出)となりました。これは主に、譲渡制限付株式の発行手数料によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の通期連結業績予想について、売上高は期初開示から変更なく4,400百万円~4,500百万円(うちライセンス売上高3,600百万円~3,700百万円)を見込んでおります。

下半期では期末賞与の計上等もあり費用が増加する見通しですが、ARR成長のために必要な投資は着実に実行しながらも投資の効率性を高めるべく選択と集中を進めております。第3四半期連結会計期間での黒字化が視野に入っており、上半期と比較して下半期では収益性が改善する見通しです。その結果、各段階損益につきましては、営業損失150百万円、経常損失155百万円、親会社に帰属する当期純損失120百万円を見込んでおります。

2026年8月期中期経営計画目標「ARR70億円」「営業利益率15%」の達成に向け、成長性と収益性のバランスを心掛け事業展開を進めてまいります。

なお、連結業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,364,904	2,488,882
売掛金及び契約資産	42,656	53,095
前渡金	325,985	347,870
その他	142,526	197,217
貸倒引当金	△801	△420
流動資産合計	2,875,270	3,086,645
固定資産		
有形固定資産	12,639	14,707
投資その他の資産		
繰延税金資産	462,092	482,803
その他	166,735	56,194
投資その他の資産合計	628,827	538,997
固定資産合計	641,467	553,704
資産合計	3,516,737	3,640,350
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,890	6,963
未払法人税等	25,949	14,701
繰延収益	1,568,939	1,841,876
賞与引当金	57,066	33,201
その他	466,849	396,756
流動負債合計	2,124,695	2,293,499
負債合計	2,124,695	2,293,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,320	840,824
資本剰余金	823,320	830,824
利益剰余金	△281,113	△344,268
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,375,018	1,326,871
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,022	19,979
その他の包括利益累計額合計	17,022	19,979
純資産合計	1,392,041	1,346,851
負債純資産合計	3,516,737	3,640,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	1,831,927	2,126,381
売上原価	1,155,500	1,340,756
売上総利益	676,427	785,625
販売費及び一般管理費	699,038	866,417
営業損失(△)	△22,611	△80,791
営業外収益		
補助金収入	301	143
その他	51	83
営業外収益合計	352	227
営業外費用		
為替差損	2,475	1,906
株式交付費	790	628
その他	1	2
営業外費用合計	3,266	2,537
経常損失(△)	△25,525	△83,101
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,525	△83,101
法人税、住民税及び事業税	34,534	764
法人税等調整額	△49,844	△20,711
法人税等合計	△15,310	△19,946
四半期純損失(△)	△10,215	△63,155
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,215	△63,155

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純損失(△)	△10,215	△63,155
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,264	2,956
その他の包括利益合計	1,264	2,956
四半期包括利益	△8,950	△60,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,950	△60,198

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,525	△83,101
減価償却費及びその他の償却費	5,271	1,274
貸倒引当金の増減額(△は減少)	154	△380
賞与引当金の増減額(△は減少)	△435	△23,865
受取利息及び受取配当金	△11	△11
補助金収入	△301	△143
株式交付費	790	628
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△18,792	△10,439
前渡金の増減額(△は増加)	△14,125	△21,885
前払費用の増減額(△は増加)	△60,625	△40,576
仕入債務の増減額(△は減少)	△729	1,072
繰延収益の増減額(△は減少)	160,432	272,936
その他	△15,827	△70,925
小計	30,273	24,582
利息及び配当金の受取額	11	11
補助金の受取額	302	143
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	15,944	△11,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,532	12,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△701	△4,302
原状回復による支出	—	△25,123
敷金及び保証金の回収による収入	—	138,559
敷金及び保証金の差入による支出	△204	△1,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△905	107,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
その他	△790	△628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△790	△628
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,403	4,220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,240	123,977
現金及び現金同等物の期首残高	2,409,211	2,364,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,458,451	2,488,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,503千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が840,824千円、資本剰余金が830,824千円となっております。